

単元に係る児童の実態
<p>本学級の児童は、歌ったり、鍵盤ハーモニカやカスタネットを使って演奏したりすることが好きな児童が多い。毎朝、今月の歌に合わせて体を動かしながら歌っている。前単元では2拍子と3拍子を学習した。曲に合わせて手を叩いたり、休符や伸ばす音に気を付けながら楽しく「かっこう」を演奏したりした。</p> <p>しかし、自分のペースで歌や演奏をすることもあり、周囲の音を聞きながら歌ったり演奏したりすることに課題がある。また、鍵盤ハーモニカの演奏の技能においては個人差がある。</p>

単元のゴール
<p>自分でつくった即興の旋律を音の高さに気を付けて歌ったり、演奏したりすることができるようにしたい。鍵盤ハーモニカの演奏の際には、階名で模唱や暗唱したり、リズムを打ちながら階名で暗唱したりする活動を通して、音の高さの違いを聞き分け正しく演奏できるようにしたい。また、旋律をつくる楽しさや演奏する楽しさを味わえるようにしたい。</p>

音楽的な見方・考え方を働かせる活動
<p>児童には、音の高さの違いを聴き取り、音の高さの違いから自分なりに曲から想像したことを大事にしていきたい。そのために、「かえるの音あそび」や「かえるのがっしょう」では、かえるの位置や動きに注視し声の出し方を工夫する活動や、演奏したフレーズから、かえるの動きを想像する活動を取り入れたい。また「ドレミのまねっこ」や「せんりつあそび」では、階名を模唱し、隣接する音から次第に飛躍する音が歌えるように視覚的、感覚的にとらえられる活動を通して、音程感を養えるようにしていきたい。</p>

主体的・対話的で深い学びに向けて
<p>曲を聴いて感じたことやイメージしたことが、実際に歌唱や演奏で表現できるように、お互いのよさを認め合いながら、活動を楽しめるよう支援していく。</p>

単元計画	
◎学習課題	◆各時間終了後の児童の姿
<p>1時間目</p> <p>◎かえるがどんななき声でなき、どんなうごきをしているのか考え、やってみよう。</p>	<p>◆自分の考えた音や動きを表現し、それを友達と組み合わせ、音遊びの学習を楽しむ。</p>
<p>2時間目</p> <p>◎リズムによって、かしまドレミで歌おう。</p>	<p>◆伴奏に合わせて、歌詞や階名で歌うことができる。</p>
<p>3時間目</p> <p>◎ゆびづかいに気を付けて、えんそうしよう。</p>	<p>◆親指の位置に気を付けて、演奏することができる。</p>
<p>4時間目</p> <p>◎音のたかさをよく聞いて、「ドレミのうた」を楽しく歌おう。</p>	<p>◆音の高さの違いを感じ取りながら、楽曲の気分を感じ取って、楽しく歌っている。</p>
<p>5時間目</p> <p>◎音のたかさのちがいに気を付けて、「ドレミのまねっこ」を歌おう。</p>	<p>◆音の高さの違いを聴き取り、階名をまねして歌うことができる。</p>
<p>6・7時間目</p> <p>◎音のたかさのちがいをたしかめながら、歌とえんそうをしよう。</p>	<p>◆音の高さの違いや拍の流れを感じ取りながら、歌ったり、演奏したりしている。</p>
<p>8時間目</p> <p>◎じぶんでせんりつをつくって、えんそうしよう。</p>	<p>◆自分でつくった旋律を歌に合わせて演奏することができる。</p>

# 授業デザイン ( 3 / 8 )

## 前時の概要

「かえるのがっしょう」を音の高さに気を付けながら、歌詞唱や階名唱をする。歌詞や挿絵から、かえるの様子をイメージし、どんな声で歌うのか考える。休符があるフレーズでのかえるの様子も想像させる。輪唱では、相手グループの歌声を聴きながら歌えるよう声の大きさのバランスにも気付くようにする。

## 今後の展開

〈期待する児童の姿〉  
曲を聴きながら視覚的に音の高さの違いを感じたり、音の高さに合わせて体を動かしたりする活動を通して、曲のイメージを持ちながら楽しく歌う。

〈次時の学習課題〉  
音のたかさをよく聞いて、「ドレミのうた」を楽しく歌おう。

## 本時の目標

ポジションの移動に気を付けて、鍵盤ハーモニカを演奏する。(音楽表現の技能)

●学習内容 ○学習活動	・指導上の留意点 □評価
○前時をふりかえる。 ○「かえるのがっしょう」を歌う。 ○本時の課題を知る。 ○範奏を聴く。 ○リズム打ちをする。 ○階名唱をする。	・挿絵から、かえるがどんな動きでどのように鳴いていたのか振り返る。 ・正しいリズムで歌わせる。 ・輪唱では、声の大きさのバランスに気を付けて歌わせる。
○鍵盤ハーモニカで演奏する。 ●ポジション移動 ○まとめをする。 ○本時のふりかえりを行う。	・CDを聴く時、なぜ指遣いに気を付けなければいけないのか考えながら聴く。 ・休符に気を付けて、カスタネットでリズム打ちをする。 ・暗唱するように、繰り返し練習する。 ・音を出さずに、階名唱しながら運指とポジションを確認する。 ・同じ高さの音はタンギングさせる。 □ポジションの移動に気を付けて、鍵盤ハーモニカを演奏する。(音楽表現の技能) ・友達演奏をリズムや音に注意して聴かせる。 ・自分の演奏を振り返る。

ゆびづかいに気を付けて、えんそうしよう。

ゆびづかいに気を付けて、えんそうしよう。

楽譜

演奏するときのポイント

想像したかえるの様子